【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成20年9月4日(2008.9.4)

【公表番号】特表2005-515775(P2005-515775A)
【公表日】平成17年6月2日(2005.6.2)
【年通号数】公開・登録公報2005-021
【出願番号】特願2003-564191(P2003-564191)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｎ　15/09　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　39/245　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/22　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　7/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｎ　15/00　ＺＮＡＡ
Ａ６１Ｋ　39/245
Ａ６１Ｐ　31/22
Ｃ１２Ｎ　7/00

【手続補正書】
【提出日】平成20年7月14日(2008.7.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
配列番号１で示される配列のプロモーターの制御下でニューカッスル病ウィルスのFタンパク質遺伝子を有する組換え七面鳥ヘルペスウィルス、ここで、当該組換え七面鳥ヘルペスウイルスはHN遺伝子を含まない。
【請求項２】
前記プロモーター及びFタンパク質遺伝子が、主鎖ウィルスゲノムのオープンリーディングフレームの間に存在する非翻訳領域に挿入されている請求項１記載の組換え七面鳥ヘルペスウィルス。
【請求項３】
前記非翻訳領域が、前記ヘルペスウィルスゲノムのUL45とUL46との間に位置する領域である請求項２記載の組換え七面鳥ヘルペスウィルス。
【請求項４】
鳥類ヘルペスウィルス及びニューカッスル病ウィルスに対する防御免疫を鳥類宿主において誘発するための方法であって、請求項１，２又は３のいずれか１項記載の組換え七面鳥ヘルペスウィルスを前記鳥類宿主に接種することを含んで成る方法。
【請求項５】
前記組換え七面鳥ヘルペスウィルスが、皮下経路により又はin ovoで前記鳥類宿主に投与される請求項４記載の防御免疫を付与する方法。
【請求項６】
請求項１，２、又は３のいずれか１項記載の組換え七面鳥ヘルペスウィルスを含んで成る家禽用ワクチン。